

防災の大切さ バンドでPR

防災の大切さをより身近に感じてもらおうと、大田区山王地区の自主防災組織がCD「防災バカ」を製作した。避難所を周知したり、火災報知機の設置を呼びかけたりするオリジナルの楽曲8曲を収録している。

大田の「防災協力隊」

CDを製作したのは、山王3・4丁目自治会の「防災協力隊」。自治会の有志が阪神大震災の起きた翌年の1996年に立ち上げた。消防車の入れない路地の中にある住居地を守るため、約60人の隊員が可搬式のポンプを使った初期消火の訓練をしている。

しかし、人間関係が希薄になりがちな都心で、住宅が密集する約1800世帯を60人で守りきれない。そこで、新たな隊員の募集と、より多くの住民に関心を持ってもらうために3年前、隊員有志らがバンドを結成した。防災をテーマにした楽曲を自分で作り、披露するようになったという。

「どうしようもない大きな力に、くじけそうなおかつたときにはひとりで抱えきれないで、ここに逃げ込めばいい」

こんな歌詞で始まるバラード「坂の上の広場」は、地域の避難場所を紹介。日頃の備えと互助の大切さを歌った「防災バカ」「防災ロック」3歳の子どもが歌う「報知器マーチ」、地域の小学校で行われる放水イベントのテーマソング「Sannoサマータイム」、演歌「避難所の夜」——。CDには全8曲を収録している。

作曲を担当した隊員の秋山崇一さん(48)は「首都直下地震が迫る中、防災への意識を高くし、街のきずなをつくる



①「防災こどもまつり」で防災ソングを歌う防災協力隊員ら。大田区山王4丁目、同隊提供
②大田区の自治会が製作したCD

座)も計画している。

CDは1千枚作成。希望者に1枚500円で配る。問い合わせは、広報担当の秋原さん(48)のメール(CB00433@nifty.com)へ。

東京

千代田 中央 新宿
港 文京 品川 北
目黒 大田 世田谷
渋谷 中野 杉並
豊島 板橋 練馬

速報や写真・話題の提供、催しなどの連絡先
朝日新聞 東京総局
〒100-0011

千代田区内幸町2-2-1
日本プレスセンタービル3階
☎ 03-3508-0390
fax 03-5157-0615
mail tokyo@asahi.com

購読・配達のご用は
☎ 0120-33-0843
(7:00~21:00)

広告のご用は
☎ 03-3547-5552
折り込みのご用は
☎ 03-3544-7621

きょうの天気

6-12時 晴水確率 12-18時

0	大手町	10
0	練馬	10
10	府中	10
10	八王子	10

大手町 南東 府中
南南東